

令和6年度国際関係学部総合型選抜（第1期・第2期）

ディスカッション方式について

ディスカッション方式の試験内容は、下記のとおりとなります。

記

1 試験形式

原則、受験生5名が1グループとなってグループディスカッションを行います。

※受験者数により1グループの人数が増減する場合があります。

ディスカッションのテーマは、8月1日（火）に公開された「課題論文テーマ」になります。グループの中で、進行係等の役割決めはありません。試験監督者が進行係兼タイムキーパーとなります。

2 試験の流れ

①係員の誘導に従い、試験教室の指定された席に着席します。

②1人2分間で自己紹介（出身高校、氏名、志望動機等）をします。

③1人3分間で課題論文内容を発表します。

※パソコン、ホワイトボードを使用した発表は出来ません。課題論文の発表の際の補助資料としてA3サイズまでの図・表等を記載した紙の持ち込みは可能です。

④全員の発表を聞き、25分間でテーマ内容をディスカッションします。25分間でグループとしての意見がまとまるようにしてください。ディスカッション中の発言は挙手制とします。

⑤ディスカッション終了後、退室し終了となります。

3 評価項目

リーダーシップ、積極性、協調性、理解力、表現力、態度、姿勢等

4 当日の持ち物

受験票、筆記用具、メモ用紙、発表用の原稿（必要であれば）を必ず持参してください。

※他の受験生の発言等をメモ用紙に記入しても構いません。

以 上